

取付時の注意事項

1. 圧力計は正立(目盛板に向かって垂直方向)にて検査・調整していますので必ず正立でご使用下さい。特に低圧の圧力計の場合はご注意下さい。
2. 圧力計の配管取付ネジには適切なガスケット、シール材等を取付けて確実に締め込んで下さい。
3. 取付の際は必ずネジ上部の角部にスパナを掛けて締め付けて下さい。圧力計ケースに力をかけて締め付けしないで下さい。示度不良等の原因となります。
4. 圧力計は必ず配管とゲージとの間にゲージロックを入れて取り付けて下さい。保守及び交換の場合はゲージロックを閉めて行って下さい。
5. 圧力計への圧力導入はゲージロックをゆっくり開く等、徐々に昇圧して下さい。特に初めて圧力をかける際は安全を確認しながら徐々に実施して下さい。

使用環境での注意事項

1. 圧力計は“日本工業規格ブルドン管圧力計 JIS B 7505-1 一般”に準じて製作しておりますので、周囲環境にご注意下さい。
2. 指示精度を維持する為に、各使用温度範囲を守って下さい。
3. ブルドン管内は凝縮しやすいので凍結は必ず避けて下さい。
4. 圧力計への振動は避けて下さい。
5. 圧力媒体に圧力変動(圧力が急激に繰り返し変化する)がある場合、圧力計と配管の間にダンパーを取付けて下さい。
6. ブルドン管は薄い金属を更に塑性加工したものであるため、腐食性雰囲気及び腐食性圧力媒体は絶対に避けて下さい。また、加水分解等により腐食が生じる媒体もございますのでご注意下さい。腐食する危険性の高い圧力媒体にはハステロイ製ブルドン管の圧力計を推奨致しますが、耐えうる限界がございますのでご注意下さい。
7. 切り粉等の異物が媒体内にあるとブルドン管のリークまたは作動不良の原因となりますので絶対に避けて下さい。
8. 使用圧力の上限は定圧力においては最大目盛の3/4以下、変動圧力においては最大目盛の2/3以下でご使用下さい。
9. 点検は毎年1回以上定期的実施して下さい。